

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2017年11月）

【内政】

1 新刑事訴訟法の施行

1日、新刑事訴訟法が施行された。最大の変更点として、以前は事件の捜査及び判決を裁判官が一手に担っていたが、今後は検察官が捜査を行い、裁判官は判決のみを行うことになる。また、逃亡の危険性がある場合等を除き容疑者の勾留が必ずしも義務ではなくなる。改正前は裁判まで数年にわたり勾留されるケースもあり、人権侵害であるとの批判が強まっていた。

2 マルティネス・モンテビデオ県知事の評価

14日、「ラ・レプブリカ」紙は、エキポス社によるモンテビデオ県知事に関する世論調査結果を掲載し、マルティネス・モンテビデオ県知事を評価すると答えた人が51%に達し過去最高となった旨報道した。一方、評価しないが23%、どちらでもないが23%、分からないと回答したのが3%であった。評価しないとの回答は、4月に前回の42%から24%に劇的に改善して以降維持されている。なお、モンテビデオ県政を評価すると答えたのは41%、評価しないが27%であった。同県庁の分野別評価では、公園等の公共スペース管理、街灯の設置、文化イベント促進等が高い評価を受けた。同世論調査は10月中旬から下旬にかけて行われたもの。

【外交】

1 ウルグアイ・ベネズエラ外相会談

7日、ニン・ノボア外相はウルグアイを訪問したアレアサ・ベネズエラ外相と会談し、ベネズエラ国内の政情及びそれが様々な地域枠組みに及ぼす影響について意見交換した。ニン・ノボア外相は、ベネズエラ政府が複数のウルグアイ企業に負っている負債を返済するための具体的なメカニズムを模索するよう求めた。2015年7月、ベネズエラはウルグアイから3億米ドル分の食糧を購入することに合意したが（当館注：同合意には、ウルグアイとベネズエラが相互に負っていた債務の帳消し等が含まれる）、その際の支払いが滞っており、最大の債権者である乳製品会社コナプロレ社には39百万米ドルの未払いがある。

2 カネロネス県知事訪中

7日～9日にかけて広東省で開催された中国・ラテンアメリカ・カリブ国際EXPO（CLAC）にオルシ・カネロネス県知事が複数の地元企業と共に参加し、ウルグアイ及びカネロネス県への中国からの投資誘致を行い、カネロネス県におけるワイン産業をはじめとする農業、工業、観光業の重要性をアピールした。また、中南米カリブ地域の持続可能な開発のためには投資とインフラ整備が不可欠であり、中国の産業力と投資力はラ米諸国の需要に合致していると述べた。

3 オランダ工業起業連合会長のウルグアイ訪問

8日、ニン・ノボア外相は、ウルグアイを訪問中のハンズ・デ・ボエル・オランダ工業起業連合会長と会談した。両者は、現在交渉中のメルコスール・EU・FTAが双方に恩恵を与えるものであり、年内合意を目指す努力を行う旨述べた。同会長は、農業、工業、貿易、サービス、情報技術分野を代表し、メルコスール・EU・FTA交渉において意思決定に関わる。同会長は、2018年にオランダ首相及び企業関係者がウルグアイを訪問する可能性について述べ、ニン・ノボア外相はそれを好意的に受け止めた。

4 ウルグアイ・ブラジル外相会談

10日、ニン・ノボア外相は伯を訪問しヌネス伯外相と会談した。両外相は二国間の多様な分野に関する意見交換を行い、定期的作業メカニズムである二国間ハイレベル・グループ及びハイレベル会議の再開を評価した。同日、両外相はメルコスール・EU・FTA交渉の枠組みで行われたメルコスール加盟国外相及びカタイネン欧州委員会副委員長との会議に出席した。

5 ウルグアイ・ポーランド政策協議

10日、ベルガミノ外務次官及びマギロエフスキ・ポーランド外務次官（経済、米州、アジア担当）が出席し、ウルグアイ・ポーランド政策協議が開催された。双方は、二国間における主要なテーマについて意見交換し、二国間及び多国間における協力の可能性及び両国の友好関係強化への関心を表明した。現在交渉中のメルコスール・EU・FTAをはじめとするラテンアメリカ及び欧州における地域また多国間の関心事項についても意見交換した。

6 ウルグアイ・フィンランド政策協議

13日、ベルガミノ外務次官及びステルンド・フィンランド副外相出席のもとウルグアイ・フィンランド政策協議が行われた。双方は、二国間の政治、貿易、投資に関して協議を行ったほか、教育・科学・技術・環境の分野における協力の新たな可能性を模索した。また、メルコスール・EU・FTA交渉を含むラ米及びEUに関わる地域的関心事項、国際情勢、国際法の尊重、平和的紛争解決及び平和維持活動等を含む多くの分野で意見を共有する国連アジェンダについて意見交換した。次回政策協議をフィンランドで開催することに合意した。

7 ウルグアイ・メキシコ首脳会談

13日～16日、バスケス大統領はニン・ノボア外相、アストリ経済財務相、アゲレ農牧水産相と共にメキシコを訪問し、14日、ペニャ・ニエト墨大統領と会談した。バスケス大統領は、9日から開催されていた2004年署名済みウルグアイ・墨・FTAの拡大に向けた第6回協議の成果を強調した。具体的には、ウルグアイ産小売り用粉乳輸入許可、牛肉の無関税輸入枠の割当、カカオ（アルファホーレス及びココア・バター）及び工業製品（アルミ箔及び型材）の原産地規則の柔軟化といった前進があった。13日に行われたニン・ノボア外相とグアハルド墨経済相との会談において、二国間FTAのアップデートを2018年後半に継続して行う重要性が強調された。両国は、モンテビデオとメキシコシティー間の直行便の運航を可能とする航空協定に署名した他、バスケス大統領は企業関係者との会合でウルグアイへの投資誘致を行い、同国で開催された「がん撲滅のための世界リーダーサミット」及び「第16回将来の病院国際会議—健康の新たな形—」で演説した。

8 ウルグアイ・ペルー政策協議

17日、モンテビデオで第3回ウルグアイ・ペルー政策協議が開催され、ベルガミノ外務次官及びポポリシオ・ペルー外務次官が出席した。二国間貿易及び投資促進を目的として、貿易担当副大臣レベルの作業会合を2018年2月にリマで開催し、署名済みウルグアイ・ペルー経済補完協定（ACE58）深化に向けた二国間交渉開始のための共通関心分野の特定を行うことに合意した。両者は、メルコスールと太平洋同盟の関係緊密化のためのロードマップに沿った活動実施の重要性を共有した。両外務次官は、2008年署名済みの戦略的連携枠組協定の完全な実施を通じた対話及び協力の促進を強調し、2018年に同協定に基づく各種共同委員会の開催を行うことに合意した。また、アフリカ系国民の権利保護・推進及び人種・民族差別撤廃のための活動に関する署名済みの覚書を交換した他、両国の外交官アカデミー間の協力協定に署名し、領事支援に関する協力協定への署名を約束した。ベルガミノ外務次官は、2019年～2024年米州人権裁判所判事へのリカルド・ペレス・マンリケ前最高裁判長の立候補について、ペルーの支

持を要請した。

9 2030年サッカーW杯共同立候補ハイレベル会議

21日、ニン・ノボア外相は、ケチチアン観光大臣、カセレス・スポーツ庁長官等と共にアスンシオンを訪れ、FIFA2030年サッカーW杯3ヶ国共同立候補に関するハイレベル会議に出席し、カルテス・パラグアイ大統領と会談した。アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ3カ国の外相は、共同立候補のための協力に関する覚書に署名し、各国の外務省、スポーツ庁、観光省がそれぞれのサッカー協会を支援し、同関係当局が参加する作業グループ及び各国の代表1名により構成される調整グループを発足させた。

10 韓国・ウルグアイ経済通商合同委員会

23日、ウルグアイにおいてベルガミノ外務次官及びYun韓国外務次官（経済担当）が出席し、第6回経済通商合同委員会が開催された。双方は、工業所有権及び通信等に関する協力案件、南米地域のハブとしてウルグアイに進出する可能性がある最先端技術分野の韓国企業について意見交換し、二国間関係の更なる発展を推進する作業を継続することで一致した。本年3月にメルコスール議長国（亜）及び韓国産業通商エネルギー省との間で署名された、韓国メルコスール貿易協定に向けた予備協議完了に関する共同宣言について述べた。

11 孔子学院開校

29日、ウルグアイにおける孔子学院の開校式が開催され、マルカリアン共和国大学学長、Fan青島大学学長、リコ共和国大学人文・教育学部長、パチエコ外務省国際協力総局長、イン・チュンクン在ウルグアイ孔子学院院长、カランプラ・ウルグアイXXI事務局長、ルグリス在中ウルグアイ大使及びDong在ウルグアイ中国大使が出席した。孔子学院では、2018年3月から中国語、中国文化、料理、音楽、武道に関する授業が開始される。同開校式は孔子学院ではなく共和国大学建築学部で行われ、孔子学院（共和国大学人文学部内に設けられる）における実際の授業は来年3月に開始予定であるが、当地プンタ・デル・エステでの第11回中国ラ米カリブ・ビジネスサミット開催に合わせて式典を実施した模様。

12 ウルグアイ・亜外相会談及び国境関連会合

29日、サルト県で開催された第50回国境地域開発協力委員会（CODEFRO）の枠組みでニン・ノボア外相はフォリー亜外相と会談し、国境地域開発を目的として2019年に両国国境沿いの都市（ウルグアイ側）フライ・ベントス市及びパイサンドゥ市の統合管理地域にそれぞれ6百万米ドル、4百万米ドルの投資を行うことに合意した。ニン・ノボア外相は、両国国境地域における救急車の国際橋通過、補完的生産バリューチェーン強化を目的とする中小企業支援、地方自治体の統合政策を促す体制の強化等に関する協定案を両国が準備している旨説明した。

【要人往来】

○往訪

- 10日、ニン・ノボア外相のブラジル訪問
- 13日～16日、バスケス大統領、ニン・ノボア外相、アストリ経済財務相、アゲレ農牧水産相のメキシコ訪問
- 21日、ニン・ノボア外相、ケチチアン観光大臣のパラグアイ訪問

○来訪

- 7日、アレアサ・ベネズエラ外相
- 10日、マギロエフスキ・ポーランド外務次官

- 13日, ステンルンド・フィンランド副外相
- 13日, ライダーILO事務局長
- 17日, ポポリシオ・ペルー外務次官
- 23日, Yun韓国外務次官
- 29日, フォリー亜外相

(了)